

## 大学女性協会員の皆さま

### 『災害の記憶をつなぐ』（仮題）出版のための原稿ご執筆のお願い

（一社）大学女性協会・生涯学習委員会  
委員長 渡部由紀子

昨今の日本列島は、“経験したことのない”自然災害が多発しています。ここ20年間をみても、豪雨、台風、地震、豪雪などが毎年のように甚大な被害を発生させています。また、今年は世界中が新型コロナウイルスに翻弄され続けて秋を迎えました。この新型コロナウイルスによる感染症の蔓延を災害としてとらえる考え方は、かなり一般に広まってきました。

大学女性協会では、2017年3月に新規事業委員会（現生涯学習委員会）主催でミニシンポジウム『「災害を語る会」一男女共同参画の視点から』を開催しました。災害を経験した5名の当会会員から、生の体験をお話しいただき、災害を語り継ぐことの大切さや、避難所の早急な改善の必要性など、「災害」について、より多くの情報を共有し、来るべき災害に備えることの重要性をあらためて痛感いたしました。

そのような活動を踏まえ、生涯学習委員会は、この度、皆さまから災害の“記憶”をお寄せいただき、それを記録集の書物として出版する企画をたてました。大学女性協会の会員は全国にわたっておりますので、皆さまの、全国の災害の貴重な記録になり、合わせて、生活者としての女性の視点から提言できることが多いのではないかと考えた次第です。皆さまが、あるいは、皆さまの周りの方々が、経験された災害について、その時の状況や、もっとも印象深かったことがら等々、災害の経験談やそれから生じた提言などをお寄せいただけましたら幸いです。お忙しいとは存じますが、貴重なご経験から得られたものを、今後に活かし、後世につなげていくためにも、ぜひともご執筆くださいますよう、お願い申し上げます。

語っていただく“災害”は、豪雨、台風、地震・津波、豪雪などに加えて、新型コロナウイルスによる感染症まで、なんでも構いません。また、“災害の経験者”は、ご自分だけでなく、親、姉妹兄弟、親戚、友人などの経験でも結構です。地域に伝わる言い伝えなども構いません。“提言”は、従来ともすれば抜け落ちてしまっていた生活者としての女性の視点からの提言を歓迎します。以下の要領で、災害に関する<記録>、<記憶>、<提言>をどうぞ奮ってご寄稿ください。

### 『災害の記憶をつなぐ』（仮題）執筆要項

- 1) 原稿内容・・・災害に関する<記録>、<記憶>、<提言>
  - ◎ご自分、家族、友人などが経験された災害についての客観的な記録や、それについてのご感想、記憶に残っている印象的な事柄など、なんでも結構です。また、ご自分の経験を基に、今後の防災、災害後の暮らしについてのご提言もお寄せください。
  - ◎原稿の内容が、もし、<記録>、<記憶>、<提言>、等の分野に分けられるのであれば、下の<原稿整理用アンケート>の該当する分野を○で囲んでください。原稿の形式として、分野を併せてお書きくださることも、分野別に分けて書いてくださることも、どちらでも結構です。
- 2) 原稿字数・・・<記録>、<記憶>、<提言>それぞれにつき 800 字以内
- 3) 原稿締切・・・2021年2月22日（月）  
※ご寄稿くださる方は、2020年12月20日までに、執筆予定である、という連絡をメール（[j-cafe@jauw.org](mailto:j-cafe@jauw.org)宛）またはFAX（03-3358-2889）でお寄せください。
- 4) 原稿様式・・・紙媒体でも、メールに添付したファイルでの電子データでも結構です。  
（※大学女性協会のホームページからWord文書「災害の記憶をつなぐ記録集」<原稿整理用アンケート>をダウンロードしてご活用ください。）

5) 送付先・・・郵送の場合：〒160-0017 新宿区左門町 11-6-101 大学女性協会  
生涯学習委員会 (Fax: 03-3358-2889)  
メールの場合：生涯学習委員会 [j-cafe@jauw.org](mailto:j-cafe@jauw.org)

※なお、お寄せくださる原稿については、本の構成上、一部編集させていただく場合があります  
ことをご了承ください。  
※以下の内容にお答えいただき、ご寄稿くださる原稿に添付してください。(個人情報、この原稿に  
関連することのみに使用します)

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 切り取り ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(一社) 大学女性協会 『災害の記憶をつなぐ(仮題)』原稿申込

氏名 ..... (支部名 .....)

連絡先：メールアドレス ..... 電話番号 .....

<原稿整理用アンケート> 該当する分野を○で囲んでください。(複数回答可)

原稿の分野 (分野別に分けることが 可能な場合)	記録          記憶          提言          (複数回答可)
災害の種類	豪雨、台風、地震、豪雪、新型コロナウイルスによる感染症 その他 .....
経験した方	本人、親、姉妹兄弟、親戚、友人、その他 (                      ) 地域に伝わる言い伝え (地域名                                      )
災害の発生時期	年          月。                                      不明
提供できる写真や絵 (該当するものに○を してください)。	個人所蔵          資料館に実物 書籍に掲載 (書籍名                                      ) インターネットに掲載 (参照できる URL など:                                      ) ※写真や絵等の実物あるいは画像データをお送りいただけると幸いです。

参考資料 【2000年からの被害が甚大であった主な自然災害】

2000年4月	東海豪雨（台風14号）	愛知県・岐阜県を中心に大規模浸水。死者10人
2000年10月	鳥取県西部地震	M7.3
2001年3月	芸予地震	M6.7。広島県西部で被害甚大
2003年7月	宮城県北部地震	M6.4。宮城県で3回にわたり最大震度6弱～6強。
2003年9月	十勝沖地震	M8.0。津波に飲まれ死者行方不明者2人。
2004年8月	台風16・18・23号	日本全国に暴風・大雨・高潮の被害。死者不明者160人。
2004年10月	新潟県中越地震	M6.8。死者68人。
2005年3月	福岡県西方沖地震	M7.0。死者1人。
2005年9月	台風14号	各地で大雨となった。高知県早明浦は貯水率が1日で0%から100%へ回復した
2005年11月～	豪雪	死者行方不明者150人以上
2007年3月	能登半島地震	M6.9
2007年7月	新潟県中越沖地震	M6.8
2008年5月	茨城県沖地震	M7.0
2008年6月	岩手・宮城内陸地震	M7.2。土砂災害が多発
2008年7月	岩手県沿岸北部地震	M6.8
2009年8月	駿河湾地震	M6.5。東名高速道路が路肩崩落により通行止となり、お盆の帰省ラッシュに大きな影響が出た。
2011年1月	新燃岳噴火	26日から噴火。4月中旬の噴火以降は沈静化。
2011年3月	東北地方太平洋沖地震 （東日本大震災）	M9.0。最大震度7。東日本の太平洋沿岸部に大津波が襲来し多大な被害を与えた。福島第一原子力発電所事故も発生するなど、日本は戦後最大ともいえる国難に直面。
2011年3月	長野県北部地震 （栄村大震災）	M6.7。長野県栄村では震度6強、家屋の倒壊や土砂崩れなどの被害。
2011年4月	福島県浜通り地震	M7.0。東北地方太平洋沖地震で誘発された余震。福島県いわき市で震度6弱。また同市で土砂崩れにより3人死亡。最大約21万戸が停電。翌日、同じような場所と深さでM6.4、最大震度6弱の地震が発生。
2011年9月	台風12号	西日本各地に大雨。特に紀伊半島の奈良県南部・和歌山県で被害大。死者・不明者92人
2013年8月～	猛暑	全国的に猛暑。高知県四万十市江川崎で最高気温41.0℃。各地で熱中症による救急搬送も多数。
2013年10月	台風26号	東京都の伊豆大島にて記録的な大雨による土石流が発生。集落を飲み込み死者行方不明者39人。
2014年2月	豪雪	太平洋側でも大雪。首都圏などでスリップ事故。岐阜県・山梨県・長野県では大雪で孤立する集落多数。
2014年8月	土砂災害	広島市北部の安佐北区・安佐南区の複数箇所にて大規模な土砂災害が発生。土石流などで死者74人・家屋の全半壊255軒。
2014年9月	御嶽山噴火	突然噴火。多くの登山客が巻き込まれた。死者57人。
2016年4月	熊本地震	14日前震（M6.5）最大震度7（益城町）。16日本震（M7.3）、益城町、西原村で最大震度7。熊本県と大分県の広範囲で震度6強～6弱を観測。本震の際、大分県中部でも誘発地震が同時発生。
2016年4月	大分県中部地震	M5.3。平成28年熊本地震に誘発された地震。大分県由布市で最大震度5弱。由布市・別府市などは被害の拡大。
2016年8月	台風7・9・10・11号	台風と前線による大雨・暴風による大雨で死者25名、住屋倒壊や浸水などの水害、農作物への甚大な被害。
2017年7月	九州北部豪雨	福岡県と大分県で集中豪雨。死者行方不明者42人。
2018年7月	豪雨（西日本豪雨）	広島県、岡山県、愛媛県などに甚大な被害、死者は200人超。
2018年6月	大阪北部地震	M6.1直下型地震。大阪北部で震度6弱。
2018年夏	猛暑	5年ぶりに40度超え、熊谷市で最高気温41.1℃。下呂市、美濃市でも41.0℃。都内の青梅市で40.8℃、名古屋市で40.3℃、京都市で

		39.8℃を観測。
2018年8月	台風21号	大阪湾で第二室戸台風の時を上回る3mを超す高潮、関西国際空港では滑走路が浸水し、連絡橋にタンカーが衝突して孤立状態となった。
2018年9月	北海道胆振東部地震	M6.7。厚真町で震度7、札幌市東区や新千歳空港などで6弱。苫東厚真火力発電所の緊急停止から発生したブラックアウトにより全道295万戸が停電
2019年7月	九州北部豪雨	長崎県から佐賀県、福岡県までの広い範囲で線状降水帯による集中豪雨。朝倉市・東峰村（福岡県）・日田市（大分県）の洪水害・土砂災害等。
2019年9月	房総半島台風(台風15号)	関東上陸時の勢力では過去最強クラスの台風
2019年10月	東日本台風(台風19号)	関東、甲信、東北地方等で記録的大雨、甚大な被害をもたらした。
2020年1月～	新型コロナウイルス COVID-19による感染症	日本では陽性者数10万人超、死亡数1800人超を記録し、世界では感染者約5000万人、死者約125万人を記録した。(11月8日現在)
2020年7月	令和2年7月豪雨	九州全域で記録的豪雨。熊本県球磨地方を中心に多数の犠牲者が出た。

参考：<https://www.7mate.jp/saigai/>

他